

5. APUは、いかにして成功したのか

1. 「迎え入れる国際化」のシンボル: 「学生の半数を国際学生(留学生)に！」

- ・このコンセプトがAPU創設を牽引した。
- ・このコンセプトはいかにして生れたか。
 - 「これまで日本にない大学を創る。」
 - 「オンリーワンの大学」をめざす。
- ・このコンセプトが、国内外で大きな支持を受ける。
——とくに海外で。

2. 毎年400名(4年で3,200名)の国際学生規模はどうして決まったのか。(現在は650名)

- 1学年800名の大学を創る。
 - この大学を財政自立させるために。
- 1学年800名確保は、当時、難関だった。
 - 難航した文部省窓口との折衝
- 学生定員800名なら、国際学生はその50%で400名。
- 目標数値へのこだわり

3. 毎年400名の国際学生の確保は、日本の大学の未体験ゾーン

- ・文部省:「そんな大学計画、無謀だ。毎年400名確保できることを証明せよ！」
- ・「それなら、世界の高校400校と学生推薦協定を締結しよう。」
 - 立命館教職員チーム世界20カ国・地域の高校・教育機関約890を回る。
 - 約280の推薦協定を実現
- ・目標数値へのこだわり

4. どうして世界約80もの国・地域から学生受入れられるのか。

- ・「日本語の壁」を超えたこと

- 日本語が前提では、国際大学の構築は困難：

- 国際学生は北東アジアに傾斜

- ・「経済条件の壁」を破ること

- 発展途上国出身の学生諸君にとって、経済支援体制（奨学金）構築の意味は、格別大きい。

- ・短期間に国際的知名度を構築したこと

- 多くの世界の著名人の共感、共鳴、尽力

5. 創設準備期(1990年代後半)の試練

- ・1997年アジア通貨危機

 - 1997、98、99年、アジアを襲った経済沈滞

 - 「APUの計画は、ダメではないか。」

- ・P.クルーグマン教授の論文:「まぼろしのアジア経済
The Myth of Asia's Miracle」1994年12月、*Foreign Affairs*誌

 - 「クルーグマンの予測はやはり当たった！」

 - の声

※ クルーグマン教授は2008年ノーベル経済学賞を受賞

The Myth of Asia's Miracle

Paul Krugman

A CAUTIONARY FABLE

ONCE UPON a time, Western opinion leaders found themselves both impressed and frightened by the extraordinary growth rates achieved by a set of Eastern economies. Although those economies were still substantially poorer and smaller than those of the West, the speed with which they had transformed themselves from peasant societies into industrial powerhouses, their continuing ability to achieve growth rates several times higher than the advanced nations, and their increasing ability to challenge or even surpass American and European technology in certain areas seemed to call into question the dominance not only of Western power but of Western ideology. The leaders of those nations did not share our faith in free markets or unlimited civil liberties. They asserted with increasing self-confidence that their system was superior: societies that accepted strong, even authoritarian governments and were willing to limit individual liberties in the interest of the common good, take charge of their economies, and sacrifice short-run consumer interests for the sake of long-run growth would eventually outperform the increasingly chaotic societies of the West. And a growing minority of Western intellectuals agreed.

The gap between Western and Eastern economic performance eventually became a political issue. The Democrats recaptured the White House under the leadership of a young, energetic new presi-

PAUL KRUGMAN is Professor of Economics at Stanford University. His most recent book is *Peddling Prosperity: Economic Sense and Nonsense in the Age of Diminished Expectations*.

6. APU計画は、社会的約束

- 大分県、別府市との約束、日本経済界との約束
- 「泣き言」はいっておれない。

7. APU計画推進を支えた、「21世紀は、アジア太平洋時代」への確信

- 2000年になれば、必ずアジア経済は回復する。
- 時代は、大体そのようになった。
- ※ クルーグマンの「予言」は何だったのか。

6. APUはどのような人びとに 支えられているか

1. 優秀な国際学生受入れに果たした日本の経済界の役割——異例の支援

- ・日本経団連:「国(政府)がやるべきことを私学・立命館がやろうとしている。」→積極的支援→文部科学省へ設置アピール
 - ・日本の代表企業トップを中心に、アドバイザー・コミッティを組織
 - ・奨学金ファンドへの協力
 - ・今、前例のない就職支援(人材確保)
- ※ 「ACライブラリー」をご覧ください。



APUアドバイザリー・コミッティ設立総会(1996年)



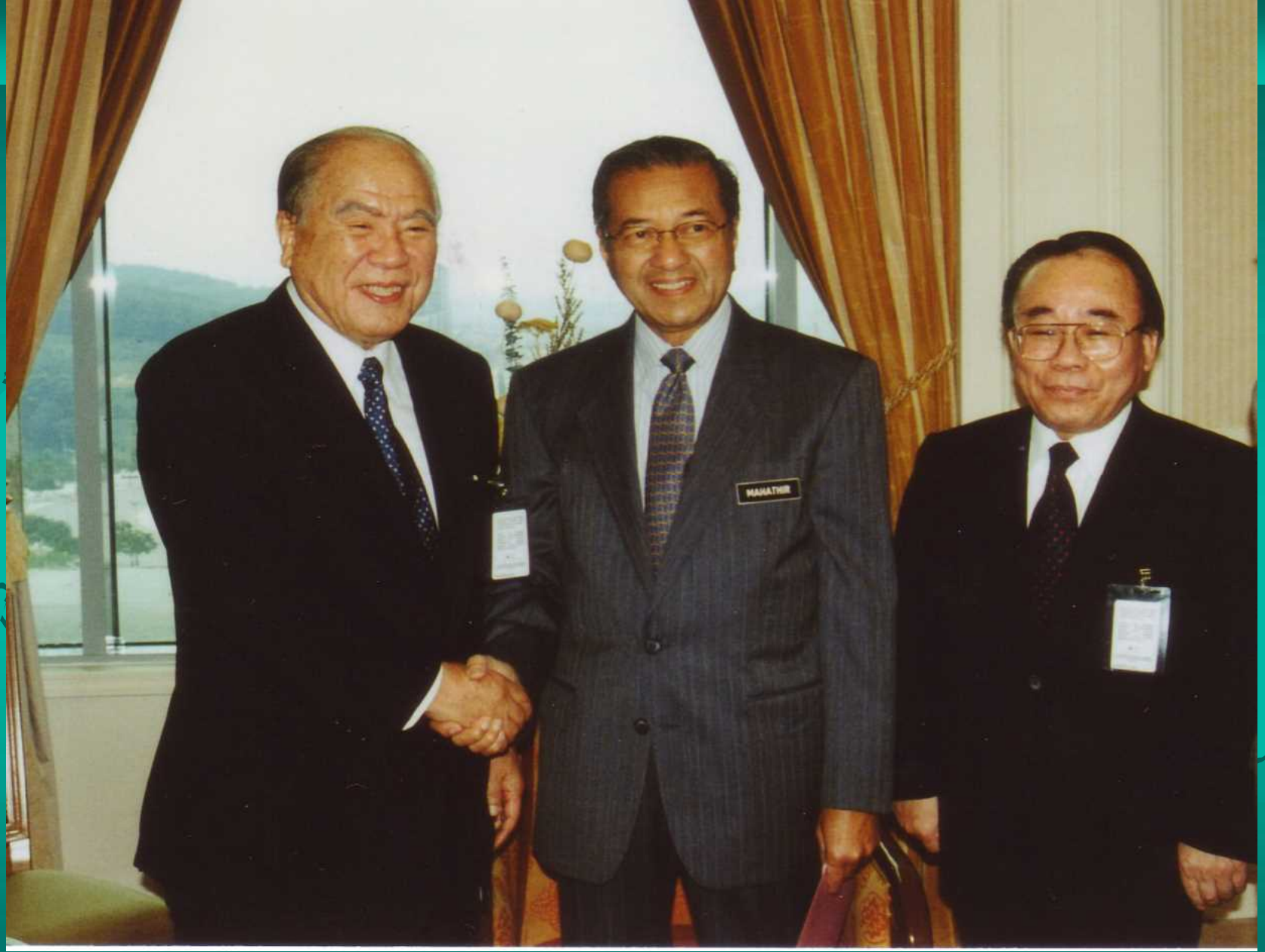
日清食品創業者 安藤百福氏(故人)

2. 短期間での国際的知名度構築に果たした 多数の友好的な国際的著名人(AC,AA)の役 割

- ・各国指導者
- ・国連関係者
- ・学者
- ・ジャーナリスト
- ・文化人・芸術家 など



中国前国家副主席 曾慶紅氏



マレーシア元首相 マハティール氏



シンガポール元国連大使 トミー・コー氏

センター特別講演会

ける日本と韓国の役割

講演者 鄭 夢



韓国サッカー協会会長 鄭 夢準氏



フィリピン元大統領 フィデル・ラモス氏



アラブ首長国連邦文部大臣 ナヒヤーン殿下



国連事務総長前特別補佐 モーリス・ストロング氏



経営学者 ピーター・ドラッカー氏(故人)

What Ritsumeikan Asia Pacific University is going to do—to integrate the Asia-Pacific region through advanced education—is the most important task in the world economy and world society. It promises to provide the region with the human foundation for its economic success.

My best wishes,

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Peter F. Drucker', with a long horizontal flourish extending to the right.

Peter F. Drucker

Claremont, California

February 9, 1998

「立命館アジア太平洋大学が成し遂げようとしていること、すなわち高等教育を通じてアジア太平洋地域を融合することは、世界の経済や社会にとってもっとも重要な仕事です。それによって、この地域の経済的成功を達成するための、人間的基盤が築かれるのです」

(1998年2月9日 ピーター・F・ドラッカー)